

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京サイクルデザイン専門学校
設置者名	学校法人水野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
環境デザイン専門課程	スポーツ工学デザイン科 自転車スタンダードコース	夜・通信	384時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	スポーツ工学デザイン科 自転車クリエーションコース	夜・通信	384時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
	スポーツ工学デザイン科 自転車アドバンスドコース	夜・通信	384時間	$80 \times 4 = 320$ 時間	
(備考) 新課程・・・2025年度改定(コース新設&教育課程変更) 『自転車スタンダードコース』は新設。在籍は1年生のみ。 『自転車クリエーションコース』の同課程の在籍は1年生のみ。 『自転車アドバンスドコース』は新設。在籍は1年生のみ。					

環境デザイン専門課程	スポーツ工学デザイン科 自転車プロダクトコース	夜・通信	384時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	スポーツ工学デザイン科 自転車クリエーションコース	夜・通信	384時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
(備考) 旧課程・・・2024年度改定(教育課程で変更あり) 『自転車プロダクトコース』は2年生のみ在籍、同一課程の前年度卒業生なし。 『自転車クリエーションコース』は1、2年生が在籍、同一課程の前年度卒業生なし。					

環境デザイン専門 課程	スポーツ工学デザ イン科 自転車クリエーシ ョンコース	夜・ 通信	664時間	80×3= 240時間	
(備考) 旧課程2022年度改定(教育課程で変更あり) 『自転車クリエーションコース』は3年生のみ在籍。同一課程の前年度卒業生あり。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校 HP にて公表

https://tcds.jp/about_futankeigen

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京サイクルデザイン専門学校
設置者名	学校法人水野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校HPにて公表
https://tcds.jp/about_futankeigen

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社員 上級技術顧問	2025. 6. 28～ 2029. 6. 27	企画・調整・コンプライアンス
非常勤	税理士	2025. 6. 28～ 2029. 6. 27	企画・調整・コンプライアンス・財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京サイクルデザイン専門学校
設置者名	学校法人水野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

スポーツ工学デザイン科

自転車プロダクトコース（2年制）
自転車スタンダードコース（2年制）
自転車クリエーションコース（3年制）
自転車アドバンスドコース（4年制）

授業計画（シラバス）の作成に当たっては、カリキュラムポリシーに則り、各コースのプログラム担当が原案を作成している。

原案は、学科長の審査を経て、校長の承認のもと決定される。

授業計画（シラバス）はHP上にて公表するとともに、年初のオリエンテーションにて詳細説明を行い、学生に周知している。

授業計画書の公表方法 https://tcds.jp/about_futankeigen

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価を適切に実施し、その指針となるべき基準は、『水野学園成績評価に関する内規』にて定めている。

各課題等の成績は、担当講師が上記内規の評価基準にしたがって厳格かつ適正に評価し、履修の認定を行っている。

成績評価に関する質問等は成績発表後、一定期間を設けて受け付け、真摯に対応することにしている。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

「水野学園G P A制度に関する内規」により、成績評価においてG P Aによる客観的な指標を設定し、学内の成績評価として使用している。
成績の分布状況を把握し、数値不良者に対して個別面談・就学支援することとしている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://tcds.jp/about_futankeigen

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定についてはディプロマポリシーを定め、H Pにて公表している。
卒業認定は、履修状況、出席率、授業態度、成績などを総合的に判断し、担当講師、学科長、校長の合議により決定することを事前に通知した上で実施している。

結果は掲示にて公表している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://tcds.jp/about_futankeigen

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京サイクルデザイン専門学校
設置者名	学校法人水野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校 HP にて公表 https://tcds.jp/about_futankeigen
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		環境デザイン 専門課程	スポーツ工学デザイ ン科自転車スタンダ ードコース *新課程		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類	
2年		2, 064 [単位時間] /単位		講義	演習
2年 昼		88 [単位時間] /単位		実習	実験
		2416 [単位時間] /単位		実技	
		[単位時間] /単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
30 人		19 人	1 人	12 の内数 人	3 の内数 人
		15 の内数 人		総教員数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) ① クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ② 履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ③ 公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ④ 学校専任の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2025年度の新設コース 同一課程での卒業生 なし 人 (— %)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等)
自転車販売店、自転車関連製造メーカー、自転車卸・代理店など 自転車業界への就職
(就職指導内容)
進路希望調査、就職ガイダンス、ビジネスマナー・身だしなみ講座、業界研究、ポートフォリオ制作指導、履歴書添削、エントリーシート添削、模擬面接、学内企業説明会、企業見学会、学生企業マッチングイベント など
(主な学修成果（資格・検定等）)
水野学園職業技能検定 3級、2級、1級 自転車メンテナンス技能部門 CAD部門 スポーツバイクメカニック検定 ガス溶接技能講習 アーク溶接技能講習
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2025年度の新設コース 同一課程での在学者 なし 人	0 人	— %
(中途退学の主な理由)		
中途退学者 なし		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任制。学生・保護者がともに出席状況・課題提出状況を閲覧できる学生ウェブの運営、校長メールアドレスの全学年公開。専門医によるカウンセリング。学生相談・個別面談 など。 中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。中途採用求人の公開なども実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		環境デザイン 専門課程	スポーツ工学デザイン 科自転車クリエーションコース *新課程	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
3年	昼	3, 084 [単位時間]/単位	100 [単位時間]/単位	3632 [単位時間]/単位	実験 [単位時間]/単位
					実技 [単位時間]/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
15人		15人	1人	12の内数 人	3の内数 人
				15の内数 人	15の内数 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要)
① クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ② 履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ③ 公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ④ 学校専任の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2025年度 教育課程変更 同一課程での卒業生 なし (— %)	人 (— %)	人 (— %)	人 (— %)

(主な就職、業界等)
自転車販売店、自転車関連製造メーカー、自転車卸・代理店など 自転車業界への就職
(就職指導内容)
進路希望調査、就職ガイダンス、ビジネスマナー・身だしなみ講座、業界研究、ポートフォリオ制作指導、履歴書添削、エントリーシート添削、模擬面接、学内企業説明会、企業見学会、学生企業マッチングイベント など
(主な学修成果(資格・検定等))
水野学園職業技能検定 3級、2級、1級 自転車メンテナンス技能部門 C A D部門 スポーツバイクメカニック検定 ガス溶接技能講習 アーク溶接技能講習
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2025年度の教育課程変更 同一課程での在学者 なし 人	0 人	— %
(中途退学の主な理由)		
中途退学者 なし		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任制。学生・保護者がともに出席状況・課題提出状況を閲覧できる学生ウェブの運営、校長メールアドレスの全学年公開。専門医によるカウンセリング。学生相談・個別面談 など。 中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。中途採用求人の公開なども実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		環境デザイン 専門課程	スポーツ工学デザイン 科自転車アドバンスド コース *新課程		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
4年		4, 104 〔単位時間／単位〕	講義	演習	実習
4年			112 〔単位時間 /単位〕	4848 〔単位時間 /単位〕	実験 実技 〔単位時間 /単位〕
4年		〔単位時間／単位〕			〔単位時間／単位〕
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
15人		16人	1人	12の内数 人	3の内数 人
				15の内数 人	15の内数 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要)
① クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ② 履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ③ 公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ④ 学校専任の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2025年度の新設コース 同一課程での卒業生 なし (— %)	人 (— %)	人 (— %)	人 (— %)

(主な就職、業界等)
自転車販売店、自転車関連製造メーカー、自転車卸・代理店など 自転車業界への就職
(就職指導内容)
進路希望調査、就職ガイダンス、ビジネスマナー・身だしなみ講座、業界研究、ポートフォリオ制作指導、履歴書添削、エントリーシート添削、模擬面接、学内企業説明会、企業見学会、学生企業マッチングイベント など
(主な学修成果(資格・検定等))
水野学園職業技能検定 3級、2級、1級 自転車メンテナンス技能部門 CAD部門 スポーツバイクメカニック検定 ガス溶接技能講習 アーク溶接技能講習
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2025年度の新設コース 同一課程での在学者 なし 人	0 人	— %
(中途退学の主な理由)		
中途退学者 なし		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任制。学生・保護者がともに出席状況・課題提出状況を閲覧できる学生ウェブの運営、校長メールアドレスの全学年公開。専門医によるカウンセリング。学生相談・個別面談 など。 中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。中途採用求人の公開なども実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		環境デザイン 専門課程	スポーツ工学デザイ ン科自転車プロダク トコース * 旧課程	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
2年	昼	2, 064 [単位時間]/単位	88 [単位時間]/単位	2416 [単位時間]/単位	実験 実技 [単位時間]/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
54人	34人	2人	12の内数 人	3の内数 人	15の内数 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要)
① クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ② 履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ③ 公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ④ 学校専任の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2024年度で教育課程変更 同一課程での卒業生 なし (— %)	人 (— %)	人 (— %)	人 (— %)

(主な就職、業界等)
自転車販売店、自転車関連製造メーカー、自転車卸・代理店など 自転車業界への就職
(就職指導内容)
進路希望調査、就職ガイダンス、ビジネスマナー・身だしなみ講座、業界研究、ポートフォリオ制作指導、履歴書添削、エントリーシート添削、模擬面接、学内企業説明会、企業見学会、学生企業マッチングイベント など
(主な学修成果 (資格・検定等))
水野学園職業技能検定 3級、2級、1級 自転車メンテナンス技能部門 CAD部門 スポーツバイクメカニック検定 ガス溶接技能講習 アーク溶接技能講習
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	2人	5.4%
(中途退学の主な理由)		
経済上の理由、健康上の理由、就学・通学困難 など		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任制。学生・保護者がともに出席状況・課題提出状況を閲覧できる学生ウェブの運営、校長メールアドレスの全学年公開。専門医によるカウンセリング。学生相談・個別面談 など。		
中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。中途採用求人の公開なども実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		環境デザイン 専門課程	スポーツ工学デザイン 科自転車クリエーショ ンコース * 旧課程	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
3年	昼	3, 084 [単位時間] / 単位	100 [単位時間] /単位	3616 [単位時間] /単位	実験 実技 [単位時間] /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
36人		33人	4人	12の内数 人	3の内数 人
					15の内数 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要)
① クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ② 履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ③ 公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ④ 学校専任の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2024年度の教育課程変更 同一課程での卒業生 なし 人 (— %)	人 (— %)	人 (— %)	人 (— %)

(主な就職、業界等)
自転車販売店、自転車関連製造メーカー、自転車卸・代理店など 自転車業界への就職
(就職指導内容)
進路希望調査、就職ガイダンス、ビジネスマナー・身だしなみ講座、業界研究、ポートフォリオ制作指導、履歴書添削、エントリーシート添削、模擬面接、学内企業説明会、企業見学会、学生企業マッチングイベント など
(主な学修成果 (資格・検定等))
水野学園職業技能検定 3級、2級、1級 自転車メンテナンス技能部門 CAD部門 スポーツバイクメカニック検定 ガス溶接技能講習 アーク溶接技能講習
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	2 人	5.6 %
(中途退学の主な理由)		
経済上の理由、健康上の理由、就学・通学困難 など		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任制。学生・保護者がともに出席状況・課題提出状況を閲覧できる学生ウェブの運営、校長メールアドレスの全学年公開。専門医によるカウンセリング。学生相談・個別面談 など。		
中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。中途採用求人の公開なども実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		環境デザイン 専門課程	スポーツ工学デザイン 科自転車クリエーショ ンコース *旧課程2	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
3年	昼	3, 084 [単位時間]/単位	100 [単位時間] /単位	3616 [単位時間] /単位	実験 [単位時間] /単位
					実技 [単位時間] /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
36人		31人	0人	12の内数 人	3の内数 人
					15の内数 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要)
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要)
① クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ② 履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ③ 公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ④ 学校専任の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0.0 %)	19人 (73.1 %)	7人 (26.9 %)

(主な就職、業界等)
自転車販売店、自転車関連製造メーカー、自転車卸・代理店など 自転車業界への就職
(就職指導内容)
進路希望調査、就職ガイダンス、ビジネスマナー・身だしなみ講座、業界研究、ポートフォリオ制作指導、履歴書添削、エントリーシート添削、模擬面接、学内企業説明会、企業見学会、学生企業マッチングイベント など
(主な学修成果(資格・検定等)) 水野学園職業技能検定 3級、2級、1級 自転車メンテナンス技能部門 CAD部門 スポーツバイクメカニック検定 ガス溶接技能講習 アーク溶接技能講習
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62 人	0 人	— %
(中途退学の主な理由)		
中途退学者 なし		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任制。学生・保護者がともに出席状況・課題提出状況を閲覧できる学生ウェブの運営、校長メールアドレスの全学年公開。専門医によるカウンセリング。学生相談・個別面談 など。		
中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。中途採用求人の公開なども実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スポーツ工学デザイン科 (自転車スタンダードコース) (自転車クリエーションコース) (自転車アドバンスドコース)	200,000 円	800,000 円	450,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

前年度評価について、6月末を目安に学校HPにて公開している。

https://tcds.jp/about_futankeigen

学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)

本校では、各専攻分野の関連企業、関連団体の関係者を評価委員として、学校関係者評価委員会を組織する。同委員会では、本校自己点検・自己評価報告書に基づき、学校の運営状況や当該学科の教育状況、進路状況、学校全体の設備や運営状況などに関する自己評価結果を報告し、各委員より自己評価結果の評価を受け、自己評価結果の妥当性・客観性・透明性を高めるとともに当該学科への理解促進や連携協力による今後の運営や教育の改善等を図ることを基本方針とする。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
一般社団法人 職員	2024. 4. 1～ 2026. 3. 31	業界団体
株式会社 代表者	2024. 4. 1～ 2026. 3. 31	関連企業

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

6月に実施しており、6月末を目安に学校HPにて公開している。

https://tcds.jp/about_futankeigen

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

https://tcds.jp/about_futankeigen

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「一」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113311300014
学校名 (○○大学 等)	東京サイクルデザイン専門学校
設置者名 (学校法人○○学園 等)	学校法人 水野学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		25 人 (-人)	24 人 (-人)	23 人 (-人)
内訳	第Ⅰ区分	13 人	12 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	- 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	- 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	- 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	- 人	- 人	
	区分外（多子世帯）	0 人	0 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人 (0人)
合計（年間）				23 人 (-人)
(備考) 後期対象外2名（停止/学業判定による認定取消）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
		年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	- 人	0 人	- 人	- 人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	- 人	0 人	0 人	0 人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	- 人	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	- 人	- 人	- 人	- 人
計	- 人	- 人	- 人	- 人
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	0 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限り。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限り。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	-人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	-人	-人	-人
計	-人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。